

合二十六日

朝来晴午后六時頃の二時間驟雨雷鳴

朝来附近、物資買集、從事セシ小丘候ハ去来若干、僅少ナル鶏豚ノ外一般要スル食物傳ニ途ナリ山中一ツ蕃薯ナリ特ニ附近ハ土匪ノ巢窟地ナルヲ以テ家ニ米麦ノ貯藏ナク時々切盗ヲ以テ其生活ヲ営ムモノナルヲ以テ給養甚ク困難ナリ故、拱手大行李ノ到着ヲ俟ツ

本隊ノ諸隊(歩兵隊除ク)及行李左ノ如ク舍營地に到着ス

砲兵小隊 工兵十隊 午前八時三十分

工兵小隊ノ一部 午前十時道路修繕ニ着手

小行李 午前十時

大行李 午前十一時三十分

午前十一時十分左ノ訓令ヲ受領ス

一、第二、第三号ノ報告正ニ受領セリ

貴官ノナシタル今迄ノ處置ニハ總テ合意ス

其後トモ天候ヲ見定メ衛生上ヲ顧慮シ無理ニ渡ラサル様運動セラシム
望ム

八月二十三日午後十二時

縣隊長岡見正美

午後二時侘美歩兵少尉帰營左ノ報告ヲ得ル

一小隊ハ頂埔庄附近ニ於テ温水溪ニ渡リ該庄ヲ搜索シテ北部討伐隊
將校斥候ト會合シ互ニ情况ヲ通セリ該將校ノ言ニヨリ頂埔庄以西平地
ニ近キ各庄ハ至極平穩ナリ

二嘉儀出張ノ北部討伐隊ハ昨日下午四時中埔庄着(警察署ノ凡所ニシテ
五ノ分ニ中埔庄ト入違ヒテ)川水漲溢道路險惡爲リ中崙庄ニ到ルヲ傳バ

今猶ホ停止シアリテ南部討伐隊長ノ命ヲ請ハントス

三討伐計畫上如何ヲ慮リ午後六時ヲ期シテ右打合ヲ爲シ埤寮庄ニ於テ會
合ヲ期シ置キタリト

忠倉庄ハ土匪巢窟地ナリ嘉義東堡ニ出ル北門ノ鎖鑰地ニシテ決シテ空虚
トスベキ所ニ非ラス速カニ之ヲ占領扼止シテ根底ヨリ剿除スル策ヲ取ラレハカ
ラス即チ告弘中尉ヲ本部ニ招キ南部討伐隊ノ飽ヲ最初ノ計畵ヲ變
更セス依テ北部討伐隊ハ明二十七日忠倉庄ヲ占領シテ附近ヲ剿討シ明
後廿八日ハ山中ヲ綿密ニ搜索シテ義仔寮ニ向ヒ進出ノ協議ヲ遂ク可キヲ
訓令ス
左ノ報告ヲ得ル

報 告

八月二十六日午後五時
於溫水溪合營地

頂埔庄附近剿討及第四聯隊ト連絡ノ為メ午前八時出發全十時埔頂
角北方高地ニ土人一名ヲ見ル依テ東麓ヨリ存候ヲ出シ搜索セシメ之シニ
銃ヲ携ヘタル者一名(展望者ナリ)アリ之ヲ逐フテ射撃シ西方斜面ニ到ル尚
五六名(内銃ヲ携フ者二人)アルヲ發見シ之ヲ射撃セシモ終ニ谷中ニ逃走シ其
所在ヲ見失セリ又北部討伐隊ト連絡ノ為メ一分隊ヲ深坑仔庄方面

臺灣守備步兵第四聯隊

ニ差レ遣ハセシモ終ニ連絡ヲ得ス(園上温水溪左岸ト右岸ノ相違居リシ為ノ)
午後一時三十分帰着ス

川戸歩兵大尉

全四時店仔庄集積所護衛司令荒木騎兵特務曹長ヨリ發地不穩
人馬健全ナルヒヨテ報告セリ

全時越智歩兵大尉ヨリ右側衛ハ今朝五時半頃仔寮ヲ出テ險難ナル
谿谷急坂ヲ蹶涉シ部下大ニ奮勵抵抗ナリ午後十一時廿分凍仔頂ヲ占
領セリ土匪ハ一兩日前逃走シタルカ如シ後大埔ニ通スル道路及ヒ魁仔寮方
向ヲ偵察セシモ土匪ニ遭遇セズ凍仔頂ニ防禦工事ヲ施シアルトノ報告アリ
全時九ノ訓令ヲ發送ス

越智大尉ニ對スル訓令

八月十六日午後六時
於温水溪庄

一午後二時發ノ報告受領セリ

貴官以下連日ノ勞ヲ謝ス

二本隊ハ豫定ノ如ク出發道路嶮惡、爲メ行進ニ遲緩歩兵ハ辛ワレテ
午后四時溫水溪ヲ右領セシモ其他ノ諸隊ハ途中露營今朝九時
大小行李ハ全十一時當地ニ着スルヲ得タリ

三本日小部隊ヲ出シテ附近ヲ搜索シ及北部隊伐隊ト連絡シ明日ハ一
般休養明日後日ヲ期シ越仔寮附近ヲ剿討セントス

四貴官ハ其地ニアリテ明日ハ部下ヲ休養シ明後日ハ南方及ヒ西方山
中ヲ剿討シ后大埔ニ通スル道路ヲ偵察スヘシ、賊寨破壊ハ引上
ノ際施スヘシ

五下士ニ命令ノ糧食ハ途中深谷數ヶ所アリテ夜中行進困難ナルヲ以テ
下士以下今夜本隊ニ止メ置キ明日糧食運搬ト共ニ帰隊セシム

討伐隊長 標本政章

九ノ命令ヲ下ス

討伐隊命令

八月十六日午後七時
於溫水溪庄

臺灣省立博物館藏

一 當隊ハ明日當地ニ在リテ附近土匪ノ情况ヲ偵察セントス

右側衛ハ凍仔頂ヲ占領シアリ

二 砲兵隊長ハ義仔寮以北ハ砲撃ニ適當ナル陣地ヲ偵察スヘシ

三 工兵隊長ハ凍仔頂及義仔寮ニ通スル道路ヲ偵察シ一部ヲシテ本隊ヲ收容敵舎及既舎ノ構築ヲナスヘシ

四 諸隊ハ咸シ得ル限リ休養シアルヘシ

討伐隊長 樺本政章

今時新營庄出發以來ニ於テ行軍ノ景況及ヒ土匪ノ情况并ニ剿討計畫ヲ報告ス

今時ニ店仔庄ノ野々口軍吏ニ糧秣不足ノ請求(携帶口糧モ)及討伐隊ノ

景況ヲ通報ス

今時中埔庄警察署ヨリ報告シハ匪首黃國本李烏猫ハ昨日嘉義警察署ニ使者ヲ以テ帰順申出ヲシアリ二日午前二時ヲ期シ本人直々ニ来リテ申出

ヲ申シ遣ハセリト

此狀報ハ固ヨリ信スルニ足ラス唯々一時大軍ノ未襲スルヲ怖レテ遁匿ノ餘裕ヲ作ルカ
或ハ我カ糧秣進送ノ困難ヲ知リ我軍ヲ苦重ムル策ニ近カラレ果セル可情報
第四聯ノ如ク遂ニ漸行ノ決心ナカリシナリ

今八時吉弘中尉帰還シ討伐計原ハ南部隊長御意見ノ如ク協議整ヒタリ
報告アリ

今中尉ハ午後驟雨ノ為ノ温水溪増水セシテ暗夜渡渉ノ危険ヲ慮リ前
岸ニ警急告當シ其夜携帶口糧ヲ食セシメタリ

今二十七日

晴午後五時ヨリ約二時間驟雨

各隊ハ唯附近ノ小村候ヲ出シテ物資ヲ買集及附近山中ニ隠匿シタル物資及
武器等ノ搜索ヲサシメ玄米及銃器彈藥若干ヲ発見セリ此玄米ハ商人ニ
配賣シテ適宜土人夫ノ給養ヲ補ハレム

又本部附警言察官ニ協議シ附近山中ヲ熟知ノ土人ヲ強ヒテ深ク山中ニ入ラシ

吉弘中尉補佐三右衛門五郎次郎

ノ土匪、情况ヲ密偵セシメニ三々五々山谷ニ潛伏シ集團セル土匪アラヌ
尤ノ報告アリ

報告 第三拜

主野上時ヲ分
於凍仔頂

一 二十六日午前六時發、御訓令本日受領ス

二 中隊ハ昨二十六日當地着、上后大埔ニ通スル方向及ヒ鬼仔寮方向

(鬼仔寮ハ凍仔頂南ノ約半里突)ヲ搜索セシニモ得ル所ナレ凍仔頂ノ土

匪ハ西三日前遁走セシモノ、如シ其他ノ地方モ目下土匪ナレ其踪跡

分明ナラス

三 御訓令第四項明二十八日南方及西方ノ山中ヲ剿討シ后大埔ニ通スル

道路ヲ扼スヘトアレモ南方及西方山中ニハ集團セル土匪ノアルヲ見ス

依テ明日剿討スルノ必要ヲ見ズ

四 尚ホ目下匪情偵察中ニ付異状アレハ速カニ報告セントス

越智歩兵大尉

全四時九ノ報告アリ

一 道路偵察ニ就テ温水溪庄ヨリ凍仔頂ニ至ル間道路頗ル狭小ニシテ所々
破損ノ箇所アリ就中温水溪庄ヲ出テ三回ノ渡渉場ノ如キハ兩岸急峻
ニシテ仮令ハ單獨者ト虽モ樹草ヲ柵ルニアラバ通行シ難シ此修理ニハ
工兵ニテ人ニシテ一時間ニ完成ト得ヘシ

其他山腹道ノ崩壊ニ箇所アリト虽モ甚シカラズ

ニ 龜仔寮庄ハ凍仔頂ノ東北ニ位セル戸數二十有年ノ村落ニシテ其道路ハ
温水溪庄ヨリ凍仔頂ニ通スル道路ヲ凍仔頂ニ於テ九折スル一千八百呎突
ナリ

其道路ハ畦畔又ハ小溪ニシテ一定ノ道アルナク大小ノ石礫瓦タトシテ行進
頗ル難シ土人樵夫稍々通過シ得テ小徑ナリ

今是レニ工事ヲ加ヘントスルハ即チ八百呎突ノ道路ヲ開鑿金セサレハ到底安
全ニ通行シ得難シ

千八百承ノ步行徑ヲ聞鑿セシハユ兵三十人ニシテ二十四時間ヲ要ス之ヲ要スルハ安道路ハ歩兵一列ニシテ辛クテ通行シ得レ庫庫物(砲兵材料ノ如キ)負擔ノ者ハ仮令土人タリトモ通行シ難シ

中島ユ兵少尉

今時店仔口稽林集積所護衛隊長ヨリ尤ノ報告アリ

一當地ハ至テ平穩ナリ

二當警察署長ノ報ニ拠レハ温水溪地方土匪、部下一名ハ大軍ノ温水溪ニ向フヲ探知シ數日前ヨリ彼カ御里ナン番社庄(店仔口西南約四千承突)ニ潜伏セルヲ以テ之カ捕縛ニ吸々タリト

右ヨリ考フルニ當地ニ於テモ巨多ノ曖昧者徘徊セルモノ如シ下官ハ當敬言

察官ト連絡ヲ通シ一層敬言戒ヲ嚴重ニシツアリ

三人馬共ニ健全ナリ

今時砲兵小隊長ノ帰營尤ノ口頭報告アリ

一凍仔頂高地に惹仔寮附近及ヒ竹仔林庄附近ヲ砲撃ニ適當ニシテ
東南方山中ヲモ砲撃スルヲ得

二舍營地ヨリ凍仔頂ニ至ル道路ハ極メテ嶮惡ニシテ多クノ工事ヲ施サレ
ハ縱ハ人夫ヲシテ負ミ擔セシムルモ樊々登頗ル困難ナリ

昨ニ六日午後何處ヨリ来ル者カ年齢約ナニ三オノハ見飄然トシテ舍營地ニ来リ
シヲ以テ直ニ之ヲ捕縛シテ種々取調ノ末彼ハ當溫水溪ノ總理ノ子ニシテ今日其
兄(土匪嘉ハリ居ルモノ)ト同道舍營地附近ニ来リ兄ト別ル自々ハ父ノ命ヲ受ケ皇庫
ノ景況ヲ探見セン為メ来リタルヲ白狀セリ然ルニ本日午後總理何同(土匪ノ首目)
来リ特ニ黃國父子並ニ李烏猫ト熟懇ニシテ彼等ノ匪業ヲ擧ゲ糧食品等ノ請
求ヲ請フ彼トシテ於テセシモノナリト又彼ハ山谷ノ入口ニ總理トシテ在リテ良民ヲ誑カレ匪
徒ニ誘引スルノ術ヲ取リシヲアリト)本隊舍營地ニ来リ小兒ヲ還サシメテ請フ即チ
直ニ之ヲ縛シ百方紮問ニ手ヲ尽セシメ初メテ安易ヲ吐キテ前註ノ惡業ヲ白狀
ス其言ニヨリハ黃國李烏猫ハ惹仔寮及竹仔林附近其後ノ高山中ニ在リ

テヲ下部下ヲ有シアルモノ、如シ

全五時十分九ノ訓令ヲ受領ス

標本支佐ニ斐ル訓令

八月二十六日午後四時
於台南

一 貴官ノ發シタル第五號ノ報告正ニ受領セリ

二 人馬ヲ損ヒ危険ヲ冒シテ前進スルハ得策ニアラス且レク天候ヲ顧慮シ
テ運動セラルベシ

三 嘉義守備ト協議セシ運動計畫ノ要旨ヲ報告セラレヨ

第五聯隊長 岡見正美

趙智大尉ニ斐ル訓令

八月二十七日午後六時
於溫水溪庄

一 本日發ノ報告受領ス

二 討伐隊ハ明日諸隊ヲ分遣シ鬼仔寮以北竹仔林附近ノ山間ヲ
剿討シ爲シ得ル東方高地ニ及ボスヲ告ナリ

三 貴官ノ疎仔頂ニ沿フ東南方山中及西方谷中ヲ綿密ニ搜索スベシ

報告第三項集團セル土匪云々ハ情報ニ拠ルハ土匪ノ多クハ既ニ東方高地ニ向
ヒ散乱シテ三々五々谷中ニ潜伏スルモノ、如シ依テ草芒ト虽氏錦岳ニ搜索シ
彼ノ物資武器等ヲ獲取スルヲ要ス

四 明日ハ砲兵隊ヲ其地ニ到ラシメ明后日ハ午前十時ヲ期シ各方面谷中ヲ
砲撃セシム

貴官ニ部隊ヲ陣地ニ送り護衛セシムヘシ

討伐隊長 樗木政章

尤ノ命令ヲ下ス

討伐隊命令

八月廿七日午後七時
於温水溪庄

一 情報ニヨレハ土匪ノ多クハ東方高山ニ向ヒ逃走セシモノ、如シ

二 當隊ハ明廿八日尤ノ如ク附近ノ土匪ヲ剿討セシトス

一 歩兵第三中隊(小隊欠)ハ竹仔林庄附近ヲ剿討シカテ東方高山ヲ搜索

シ北部討伐隊ト連絡スルヲ計リ明日温水溪ニ飯營ス

意圖ヲ示シ補給ニ第五聯隊

二 第十中隊ノ一小隊ハ義仔寮以北ヲ剿討シ東方高地ニ及ホレ明日ハ温
水溪ニ帰營ス

三 川戸小隊ハ温水溪舍營地ニテ諸行本又人夫ヲ護衛

四 砲兵小隊凍仔頂附近ニ至リ歩兵第十中隊ノ護衛ヲ受ケ明後日午
前十時各方面谷中ヲ砲撃シ今日温水溪ニ帰營

五 工兵小隊砲兵隊ノ護衛ヲ兼ネ凍仔頂ニ至ル道路ヲ修繕シ即日温水溪
ニ帰營

三 本隊ハ可成輕装シ歩兵隊ハ一日分糧食及炊具ニ釜合ヲ携行ス
四 余ハ明日歩兵第十中隊ト同行ス

討伐隊長 標本政 章

全廿八日

辛晴午後四時ヨリ約二時間雷鳴驟雨

午前四時附近ノ賊状及ハ剿討計畫并ニ明日ニ関スル部署ノ大略ヲ聯隊長
ニ報告ス

何レモ人家所々ニ散乱シ各約三戸有テ大山脈ノ山腹ニモ若干ノ家屋アリ黃國ノ大山脈其ニ巢窟ニナリ鳥猫モ其ニ賊寨ニ潜伏シアルヲ以テ乃々成瀬大尉ヲ以テ竹仔林庄再度ノ綿密ニ搜索ヲナスヲ協議シ安行セシム

又太田歩兵大尉ニ命ジ各小隊ニ此情況ヲ傳ヘ黃國ヲ捕獲スルヲ力メシム

此時吉田中尉ノ小隊ハ賊仔寮ニ歩兵第廿中隊(其ニ第廿中隊)ハ竹仔林ニアリテ綿密ニ搜索ヲナスト全時ニ頻リニ賊寨及ヒ寨門等ノ破壊ヲナシツアリ

溫水溪總理ノ言ニ拠レハ黃國ノ大山脈ノ山腹(東方約五百米突)其ニ家屋ノ外ニ下方深

谷ニ竊宅ヲ有スト信ニ近カラシ茲ニ於テ歩兵憲兵警察官ヨリ成ル一組ヲ竊宅ニ向

ハレナレニ婦人今迄テ其内ニ在リシ形跡アリシヲ以テ谷中ヲ搜索セシメニ遂ニ得ル

ヲ能ハス小杭ヲ以テ圍ミタル賊寨内ヲ搜索セシモ男若衣類等ノ外ニモ得ル所ナレ

即チ之ヲ破壊ス

此時西方谷中ニ声々裏々耳ヲ辟ガリ之ニ急峻ナル断崖屈曲ナル斜坡ノ麓徑ヲ開鑿シテ砲兵隊ノ行進ヲ容易ナシメツ、秘骨精勵汗ヲ吞ミテ傷

キア工兵ノ綿大藥破碎作業ナリ之レト今時ニ西方高地ニ砲声起ル之ノ南
方谷中ヲ遁走ル土匪ヲ追撃シテ我砲撃ミテ小銃ノ發射ト共ニ大山脈ニ響
キ温水溪東南方一面山中愴然タル修羅ノ巷トナル

尤ノ訓令ヲ獎フ

太田歩兵大尉ニ獎ル訓令

八月廿八日午後三時
於温水溪庄

一貴官ハ威レ得ル限り部下ヲ休養シ北討討伐隊ト連絡シアルヘシ北討
討伐隊ハ剿討了リ本夜竹頭崎ニ宿營ス

ニ温水溪舍營在地ノ警戒ハ貴官ニ任ス

三予ハ本夜第十中隊舍營地ニアリ

討伐隊長 標本政章

今時尤ノ要旨ノ訓令ヲ獎フ

川戸歩兵大尉ニ獎ル訓令

八月三十日午後三時
於温水溪庄

一貴官ハ明日ニ佃庄附近ヲ剿討スヘシ

臺灣軍補長江第伍聯隊

ニ報生只明日午後七時迄ニ差出ス可シ

討伐隊長 樗木政立

味仔頂庄と領中隊ハ東南方山中ニ存候ヲ派遣シ搜索シタルニ土匪ハ逸リ我隊ノ到ルヲ知り攀登スヘカサル深谷又ハ大森ノ萱芒中ニ潜伏シ一ツ抵抗ヲ試ムルナリ武器ヲ携ヘ逃走スル一人ヲ射殺シ銃一挺彈藥若干ヲ獲タリ

同時砲兵小隊モ味仔頂舎營地ニ到着ス小官ハ此夜味仔頂庄附近地形及土匪ノ實況等ヲ逃ケ後シタル婦人等ニ就キ探聞シタルに價値アル情報ヲ得ス丸ノ口達命令ヲ下ス

討伐隊命令

八月八日午後三時
於味仔頂庄

一砲兵小隊ハ今夜此地ニ宿營シ明朝豫定ノ如ク北方歩兵ノ入ル可カラサル

谷中ヲ砲撃スベシ

右護衛トシテ當占領中隊ヨリ一小隊ヲ附屬スベシ

二占領中隊残余ノモノハ適宜見學セシムベシ

討伐隊長 樗 水政 章

今六時北部隊長宛明後三十日鬼仔寮附近再度、剿討、為一部隊ヲ
直ニ忠崙庄附近、出シ談方面、警戒ヲナスヘキヲ協議ス

本日剿討ノ景況及ヒ第二期斃仔寮ニ於ケル剿討中止ニ関スル意見上申書ヲ展ス
午後十時吉弘歩兵中尉ヨリ尤ノ要旨、報告ヲ得ル

一 午前八時半分小隊ハ急峻ナル斜面ヲ北方ニ進ミ兩側ニ存候ヲ出シ廣
ク搜索ス此附近ノ高地ハ一面ノ茅草雜樹路外ノ行進頗ル困難ナリ各
存候ハ能ク困難ヲ冒シ勵ニテ搜索ヲ力ナリ

ニ 我算上中隊ハ北部討伐隊ノ既ニ竹林ニ達セシ通報ニ接シ鬼仔寮
附近ヲ搜索シ賊寨ハ悉ク破毀シツ、前進ス附近ノ匪徒ハ前日位逃走
セシ跟跡アリテ亦タ茅草中往々賊ノ露骨セシモノ如キアリ此彼レ已ニ遁
散シテ集團セシ土匪ヲ見サリシ

尤ノ要旨、報告ヲ得ル

報告第一號

八月三日午後八時
於溫水溪庄

一 八月廿日土匪剿討ノ任務ヲ以テ下士以下廿五名憲兵ニ名ヲ率ヒテ所
九時世分竹仔林入口ヲ發シ路ナキ葺茅繁茂ノ中ヲ通過シ東南
方ニ向フ此葺茅中知々ニ小數ノ匪徒潛匿シタル形跡ヲ認ムト雖ハ
隻影ナシ

二 進ムト約五百尺突ニ於テ炊煙ノ光方高キ処ニ登ルヲ見ル然レハ断崖ニ
シテ近ツクヲ得ス依テ分隊齊射四同行ノ其成績桤榔樹及葺
茅ノ爲メ不明ナリ

三 零時十五分奮勵勇ヲ鼓ヒテ前進中人家ニ入テ發見スルヤ二名ノ
土匪該家ヨリ出ル依テ一名ハ射殺シ一名ハ逃走遂ニ葺茅中ニ潛
匿シ其所存ヲ失ス射殺シタル土匪ノ容貌尤ノ如シ

年齡約五十才々五尺四寸ニシテ能ク肥満ス顔ハ稍長ク班白ノ鬚鬚
アリ想フニ匪徒中有力者ナラシ

四 午後一時四十分大山脈高ヒテ二則進中銃ヲ携帶シタル土匪ニ出會ハス夫兵之
ニ向ッテ發射ス土匪ハ驚キ其一名ハ銃ヲ捨テ蘆茅中ニ潛遁シ一名ハ恙仔
寮方向向道走ス依テ附近ヲ搜索スル其所在ヲ得ス想フ此二名ハ土
匪ノ展望者ナリ

五 坎間細徑ノ兩側ハ竹ヲ以テ種々た防禦ニテ施シアリテ進ム五百米
突ミテ賊寮大戸アリ悉ク之ヲ破壊ス

佐美安次尉

分捕品

白朮約四斗（此ハ厘極困難ニテ以テ蘆茅中ニ散布セリ）

モーゼル連發銃 一挺

射耗彈藥

一彈數五十發

午後九時川戸安次尉ヨリ九ノ要旨ノ報告アリ

支那軍用文書第二五號

一 舍營地警戒中 午前八時三十分頃 匪徒十數名 溫水溪右岸高地ニ現レ 我舍營地ヲ窺フ 依テ二回ノ分隊一斉射撃ヲナレ之レヲ撃退ス

二 本日第四聯隊ノ一部隊(竹頭崎庄ニ在ルモノ)ト連絡シ 其位置ニ止マリ 警戒ス(キヲ通報セリ)

本日佐美少尉ノ射殺セシ土匪ノ人相ヲ捕縛者ニ就キ 探究スルニ 彼等皆黃國ノ又黃國音ナラト 謂フ 依テ同少尉次期ニ於テ 彼ヲ能ク識ル土人ヲ引率シ 其首級ヲ密覓見ス(キヲ命令ス)

全二十九日

午前十時ヨリ 豫定ノ如ク 東方山脈ノ頂上ヲ目標トシテ 砲撃ヲ實施シ 竹仔林庄西方斷崖下ニ在ル 深谷ハ翌日歩兵ヲシテ 剿討セムニ必要アルヲ以テ 該部ヲ殘スノミ 其結果タルヲウ 歩兵ノ通過シ 能ハサル 部分ニテ 以テ 判然セズト 雖モ 匪徒ヲレテ 皇軍ノ如何ニ知ラモ 砲兵ヲ使用シ 天雷ヲ恐ルヘキ 榴霰彈ノ効力ハ到

底隠匿ノ餘地ナキヲ覺ラシメシナリ又九ノ口演命令ヲ下ス

討伐隊命令

八月十九日午前十一時
於陳仔頂

一 富隊ハ依然剿討ヲ續行セントス

二 砲兵隊ハ依然陳仔頂ニアリテ明後三日尚遠ヲ竹仔林庄附近及東
南方遠巨砲ヲ砲撃スヘシ

此砲撃終ルハ温水溪ニ歸營スヘシ

討伐隊長 標本政 章

午後一時店仔口糧秣集積所護衛隊ヨリ附近靜穩ニシテ人員共健全ナ
ル旨報告アリ

全三時討伐隊本部温水溪ニ歸營ス

九ノ要旨ノ報告アリ

一 本日午前七時合營地出發同七時三十分陳厝庄ニ到ル設庄ハ三棟アリ
テ庄民何某(十六歳)ナルモノ一人又ノ他ハ皆三日所遁走セリト云フ何某

ハ九足腫脹歩行ニ堪ヘサルニヨリ其位置ニ縛シ置キシニ遂ニ逃亡ス

二同七時甲午分出衆ニ佃庄ニ向フ該庄ハ南北ニ部ニ分レハ棟アリ其中間路傍

小屋内ニ苦痛ノ声ヲ發スル者アリ見ル彼ハ下茹荑南堡牛欄埔ノ良民陳

日陞ト云フ者ニシテ數日前匪徒來リ賦課金不納ノ爲メ質トシテ捕ヘタモノ

ニシテ即本日搜索ヲ兼ね道案内トシテ來ル陳金福陳同兄弟ノ實父ナ

ルヲ知リ依テ之ヲ二人ニ引渡シタリ尚陳日陞ヨリ聞き得ル狀況左ノ通

三佃庄附近匪徒約六七名ハ三日前家族ト共ニ東北山中ニ逃走セリ其

際陳日陞ト共ニ貨トナリ同庄良民三名ヲ引連レ去リ又今朝モ匪徒五

六名水牛ヲ牽ヒ山中ニ逃走セリト

四右情報ニヨリ直ニ其足跡ヲ逐ヒニ佃山ニ登リ山頂ヨリ約五十米突ノ

所ニ於テ匪徒二三名叢中ニ潜伏シテ發見シ之ヲ逐フテ數發ノ射撃ヲ

ナセシモ終ニ其所在ヲ見失ヒタリ

又其近傍ニ於テ水牛ニ頭及夜具衣類數點ヲ得タリ

川戸支兵少尉

全時北部討伐隊長ニテノ概議ヲナス

一 本日二佃庄(竹仔林ノ西北約ニ吾羅)附近剿討隊ノ報告及ヒ昨日午後
ニ於ケル剿討ノ結果ヨリハ竹仔林附近ハ猶ホ賊ノ三々伍々森林中ニ潜
伏セル者ノ如シ

當討伐隊ハ明ニテ日二佃庄ヨリ竹仔林ニ到ル間及ヒ竹仔林深谷内ノ剿
討ヲナシ明後三ノ日ハ砲兵ヲ凍仔頂ニ置き北方及南方山中ヲ砲撃セトス
二 貴官ノ其地ニ若干ノ警戒隊ヲ残シ其他ヲ攀ケテ明朝二佃庄ヲ経
テ忠崙庄ニ向ヒ其間ノ山中ヲ密ニ剿討シ適宜ノ箇所ニ宿営セシタシ
一日分糧秣ヲ携行セラルヲ要ス

三 明後三ノ日ハ忠崙庄附近ヲ出發シ剿討後景況ヲ偵察シツ竹頭
崎ニ帰營セラシタシ

全七時迄ノ命令ヲ下ス

討伐隊命令

八月二十日午後七時
於温水溪

一 情報ニヨリ賊ノ一部ハ猶東南方山中ニ潜伏シ在ルモノ如シ

當隊ハ明朝之レテ剿討セントス

二 佗美小隊ハ明朝五時前に舎營地ヲ發シ凍仔頂ヲ経テ竹仔林庄ニ到リ

西北方谷中ヲ剿討シ尙東方山中ヲ搜索スヘシ

三 平尾小隊ハ明朝七時舎營地ヲ發シ龜仔寮庄ニ向ヒ谷中ノ剿討ヲナスヘシ

四 吉弘小隊ハ全七時舎營地ヲ發シ竹仔林庄ニ向ヒ谷中ヲ剿討スヘシ

五 川戸小隊ハ全七時舎營地ヲ發シ二佃庄ニ到ル間及附近山中ヲ剿討

爲レ得ル竹仔林庄ニ至ルヘシ

六 工兵小隊ハ舎營地ニアリテ附近ヲ警戒スヘシ

諸衛兵ハ明朝交代スベシ

七 余ハ吉弘小隊ト竹仔林ニ向フ

討伐隊長 樺本政章

全三十日

晴 午後四時より驟雨ニ時半

午前六時野口軍吏ニテ、要旨ノ訓令ヲ發送ス

野口軍吏ニ於ル訓令

三日午前六時
於温水溪

一 討伐隊ハ尚本日深ク谷中ヲ搜索シ明日ハ砲兵ヲシテ再度ノ砲撃ヲナサントスル積
ナリ故ニ討伐隊ノ貴地ニ引揚ケル末ニ四日頃ナラレ

二 貴官ハ其地ニ軍隊人夫、少クモ三日分ノ糧秣ヲ準備シ置ケタレ

三 當温水溪附近ニ有カノ小隊(約甲名ヲテ下月見込)ヲ残シ警告戒セシム答アリ
依テ至急此糧秣運搬ニ着セシタレ其石教ハ約ハ石計リテ宜シ

之レト同時ニ副食食物等ノ運搬モ直ニ着テ手スルヲ要ス之レハ貴官ノ見込ヲ
以テ右守備隊ノ不自由ナキ様尽力アレ

左ノ命令ヲ發送ス

大河原砲兵少尉ニ於ル命令

八月三日午前六時
於温水溪庄

一 情報ニ於テ賊ハ猶二個庄三個庄(竹仔林ノ西北隣庄)附近深谷中ニアルモノ

三 守備隊兵隊五聯隊

如シ

本日ハ歩兵各部隊ヲ各方面ニ出シ綿密ニ剿討ヲナサントス

二 貴官ハ明日砲撃ヲ準備ヲナシ其開始ハ何分ノ後ヲ俟ツベシ

討伐隊長 樺小政 章

本日當部三旅團副官ヲシテ忠告廟庄剿討隊(北部討伐隊)ト同行セルノ其實
況ヲ觀察セシム

午後五時過後ニ於テ剿討ノ概況及後床ニ関スル剿討及警戒ノ方法ヲ報告ス
午後五時卅方工兵隊長ヨリ尤ノ要旨ノ報告アリ

本日午後三時日本人夫一名馳来リ報シテ曰ク只今温水溪右岸ノ高地ニ土匪十三名
(銃ヲ持シ)現ルト今時炊事場附近ノ歩哨ヨリ右ノ様ノ報告ニ接ス依テ直ニ右
日本人夫ヲ道案内トシ七名ノ俘候ヲ出シ撃退具捕獲ノ任務ヲ授ク右俘候
ハ午後三時十五分出發今四時卅分帰營ス俘候長ノ報ニ拠ハ竹頭崎庄南方ノ
高地ニ至ラントスル際道中ヲ二三人歩山方向ニ疾走スルモノアリ依テ三四ノ発射

撃ヲナレ尚且高地ヲ北進セシニ人影ヲ深ク追躡セス帰途ニ就ク會々温水溪流
ヲ渉ル際嫌疑者四名土人ニ擬シ(常肩ノ苦カニラス)溪谷ニテ石碑ヲ拾ヒツ、アルヲ見
テオ入、オ入、オ入、オ入)之ヲ捕獲ス

尤ノ訓令ヲ發送ス

越智大尉ニ此ノ訓令

八月三日午後六時
於温水溪庄

一 本日勦討ノ結果ニ於テ、越智寮庄附近ニハ最早多クノ土匪潜伏シアラズ
夫山庄附近ハオ入ノ土匪集合シアルモノ、如シ

二 實官ニ其地ニハ隊ヲ残シ其他ヲ警ケテ砲兵隊ノ護衛ヲ兼ネ明日本

隊ニ合スル

三 凍仔頂殘留小队ノ引上ハ追テ訓令ス

討伐隊長 樺本政章

今時尤ノ訓令ヲ發ス

砲兵隊長ニ此ノ訓令

八月三日午後六時
於温水溪庄

越智大尉ニ此ノ訓令ヲ發送ス

- 一 竹仔林及惹仔寮西北方深谷中ニ最早多ク土匪潜伏セル形跡ナシ
- 二 貴官ハ二十發以内ヲ限り遠ク東南方谷中ヲ砲撃シ上帰營スベシ
- 三 帰途歩兵第十中隊ノ一小隊ヲ附屬シ護衛セシム

討伐隊長 樺本政吉

本日剿討ニ於テ各分遣隊ハ閉鎖セル餘ノ草ヲ排シ或ハ直段ヲ以テ作ラセタル墜道下ノ谿谷ヲ攀登シ僅カニ三吉羅承突ヲ行進スルニ各約三時間ヲ費シ奮勵疲労ヲ顧ミズ沿道ヲ搜索シ時々搜射ヲナシテ竹仔林庄附近ニ達スルヲ得タリ今回ノ剿討中ノ疲労之レニ過クルモノ無カリシ然レモ其ノ賊寨ヲ破壊シ武器彈藥ノ多クヲ獲タリ
尤ノ命令ヲ下ス

討伐隊命令

一月三十日午後七時
於溫水溪庄

一 溫水溪以東剿討ノ結果ニ拠リハ該方面ハ最早多ク潜伏セル土匪オキモノ、如ク尖山庄附近ニハ多ク土匪良民混シ今猶潜伏セル情報頻リナリ
十数名ノ土匪本日舍營地ヲ窺フ護衛隊速カニ之ヲ探知シ尖山庄方向ニ撃退ス

二 凍仔頂ニ於テ砲兵隊ハ明朝寇ヲ察シ西方ノ深谷ヲ砲撃ス

三 各隊ハ明日一般休養スベシ

四 明朝諸衛兵ヲ交代スベシ

討伐隊長 標本政章

全三十一日

晴

午前一時三十分ハ美小隊帰營將校已下健全ナリ

同六時ヨリ各商人ニ命ジ主人夫ヲ指揮シ舍營地内外ノ大清潔ヲ施行ス

同時尤ノ要旨ヲ報告アリ

一 昨三日竹仔林庄及東方山中土匪對討ノ任務ヲ以テ下士以下廿四名憲兵二名警部名

巡查四名ヲ率ヒ午前五時舍營地ヲ發シ寇ヲ察シ庄及吊橋山ヲ越テ石井庄ニ至ル

山腹ニリ此間討伐風景尤ノ如シ

討伐風景

二 午前七時寇ヲ察シ東方高地ニ到リ昨廿八日射殺シタル土匪ノ死骸ヲ搜索スルニ

三 午前八時ヨリ用兵ニ至リテ五時迄

前日斃^レル如^ニ鄭重^ニ埋葬^シアリ因^テ此谷中^ニ尚^モ土匪^ノア^リヲ判断^シ先^ニ先射^ヲ
發掘^シ其首級^ヲ取^ル(匪首黃智^ニ疑^ハキヲ以^テ)尚^モ其附近^ヲ搜索^シ午前八時十分吊
橋山頂附近^ニ着^ス此間道路^ハ青竹ヲ伐^リトシ障害物^ヲ設^ケ進^ム徒^テ倍々堅固
ナリ殊^ニ閨門^ノ如^キモノヲ設^ケリ其閨門^ノ内^ヲ窺^フ賊寨^ニ棟^{アリ}其構造^ハ竹及萱
ヲ以^テ早くモ四五日前^ニ築造^シタルモノ如^ク悉^ク青々タリ依^テ之^ヲ包圍^ス一^名ノ土匪
匪^ハ其人家^{ヨリ}出^デ萱^ノ中^ニ潛匿^セトス故^ニ之^ヲ射殺^シ其人家^ヲ搜索^ス寢具
及食器等^ハ雜^ニ殊^ニ全中等^ハ猶^ホ煖氣^ヲ存^ス此景況^ニヨ^リハ我隊^ノ進
入^ヲ偵知^シ早くモ一時間^前位^{ヨリ}狼狽^ニ遁走^セモノ如^シ亦家外^ヲ搜索^ス其周
圍^ノ萱茅^ハ仆臥^シ諸^一所^ニ十人内外^ノ者露露^ニ形跡^{アリ}タ^リモ家内外^ニ於
テ百人位^ニ茲^ニ集合^シアリモノ如^シ又家屋西南^ニ萱茅^中ニ於^テ彈藥^三千發
ヲ發見^セリ其他^ハ皆家内^ニ於^テ分捕^セ物品^尤ノ如^シ

三分捕品

一 精 禾 約二石

二	乾筍子	約廿五貫
三	布圍	三十枚
四	蚊帳	二張
五	石油	釣四斗
六	醬油	釣二斗
七	敷物	二十五枚
八	婦人靴	十二足
九	其他雜品數十矣 (積存以下雜品迄、物量悉ク撒棄或ハ破却セリ)	
十	端書	四十枚
十一	二錢切手	七枚
十二	電報用紙	二十枚
十三	台中局ヨリ台南局ニ宛テシテ宅邸便受取証一枚	

四吉人家附近ヲ搜索スルニ土匪ノ大部分ハ吊橋山ニ向テ遁走セシモノ如ク足跡ニ依テ

臺灣子午線改正及五洲泰

判定スルハ約四五十人ナラン其他萱葦中ニ三人位道路ノ左右ニ遁走セシ足跡ヲ認
ム依テ小隊ハ之ヲ追跡シテ吊橋山ヲ越テ行クニ四百不突ニテ一名ノ土匪ニ出會ハテ夫
之ニ向テ發射ス命中セス其行ク所ヲ知ラス夫レヨリ尚ホ行進ヲ續行シ午後二時石井庄ニ
着ス萱葦庄人家尺一戸アルニミテ人民逃走シテ居ラス而シテ家宅搜索ヲ行フ昨夜
未三四名ノ土匪ノ宿泊セシ形跡アリ以上ノ景況ニ依テ考フルハ土匪ノ大部分ハ此方向
ニ遁走セルモノカシ而シテ又此石井庄ノ正東約一里ノ処平坦開闊ニシテ人家約三三
十戸散在シタルヲ見ル多分牛舎埔ナランニ茲ニ於テ小隊ノ追躡ヲ傳ノ各方面ノ谷中
ニ向ヒ分隊有射ヲ施シ往路ヲ經テ翌三十一日午前一時ニ分隊營地ニ歸ル
五歸着後獲タル首級ヲ捕虜營檢セシメタルニ全ク黃國ノ又ト確定シ鄭重ニ之ヲ葬ル
六小隊ハ歸路凍住頂ト舎營地間ノ谷中ニ於テ日全ク没シ道路險惡加ヒニ降雨泥
濘為テ行進燭燭緩セシメタリ

七破壊セシ賊ノ巢窟五

他美步兵少尉

溫水溪總理ノ言ニ拠ルハ黃國等ハ初メ附近ノ大山脈ニ潜伏シテモ其在ラレ一町ヲ以テ見レハ蕃仔寮（忠崙庄ノ東方約十浬里會ヲ遠クナリ）及ヒ草山附近ニ在ルナラシ然レモ密偵ヲ放チシ結果ニ拠レ

ハ彼レ小教ノ部下ヲ率ヒテ后大埔附近ニ潜伏シアルモノ、如シ依テ討伐隊ハ其兩處ヲ剿討セントセシモ密偵ノ言ニ拠ルハ后大埔ハ溪水増加到底渡河スルヲ能ハズト特ニ概ニ夜々驟雨ノ来ルヲ以テ大部隊ノ進入ハ糧食運搬ト其後追送ニ困難ナルミナラス標高千教百承突ノ吊橋山脈ヲ隔テ、且ツ目下ノ兩時河水増加シテ遂ニ如何トモスルヲ能ハカルニ到ラシ依テ吉中尉ニ特ニ后大埔溪ノ状況ヲ偵察スギテ令テ

同零時三十分病氣ノ爲メ台南ニ残留セシ兵卒廿四名未ダ着ス

同三時忠崙庄剿討隊及ヒ水原旅團副官歸着テ口頭報告アリ

一昨日午後忠崙庄附近ヲ剿討セシモ別ニ獲ル所ナシ谷中ニハ賊巢ヲ破壊スルノ數ヶ所

二本日歸途六耳門附近ニ於テ武器ヲ携ヘタル土匪潜伏スルニ出會シ之ヲ包撃セシニ死屍三ツ残シテ他ハ萱茅中ニ隠レ跡形ヲ失ス我兵死傷ナシ

同時新營庄分遣隊長ヨリ在ノ要旨ノ通報アリ

一 番仔山附近ノ賊狀其後異狀ナシ

過ルニ五日早發後ニ於テ別紙ノ如キ貼紙ヲ爲シタルモノアリテ發見シタル上目只今談

公遣隊長ヨリ報告アリタリ彼土匪傲慢不禮是非一大打撃ヲ加ヘルカラス(情報等々)

二 急水溪溺死者日々搜索過ル廿四日當隊ノ死者下營庄(急水溪大岸下流ニ墜手)

ノ西方一里ノ沼澤中ニ發見シタリ其後昨日迄ヲ引續キ搜索ヲ遂クルモ

ト夫卒ヲ發見スルヲ得ス想フニ當隊ノ夫卒ハ河水大ニ減シタル后ノ不

幸ニ由リ幸ヒミ遠ク流レスト夫卒ハ河水且取モ暴漲ヤルニ其目取中ノ

不幸ニ付キ或ハヲ遂ニ海ニ出デタルヤモ計ラレス其甚ダ遺憾ナリ

同ニ時步兵第十中隊(三隊欠)及砲兵小隊歸營本隊ニ合ス

其報告尤ノ如シ

第十中隊報告

八月三十一日午後三時
於溫水溪庄

一爾後引続き日々凍存原附近ヲ搜索セシニ匪徒ハ三分伍々各所ニ離散シテ山中仮小屋
ヲ設テ衣類食物等ヲ運搬シテモアリ搜索隊ノ到ル見レハ直ニ遁走シテ踪跡ヲ失フ間々
又搜索隊ニ向テ射撃シテ逃走セルモノアリタリニテ七日土匪一名射殺ス又捕ク所ニ依レハ黃
國ハ后大埔逃走シ其他ノ匪徒ハ四方ニ散乱シテ逃走セリ又日又搜索ニ從事セシニ當日ハ
匪徒皆遠ク逃走シ其ノ踪跡ヲ見ス

分捕只左ノ如シ

太鼓 一

彈 若干

鍊鎖 一節(良民ヲ拘禁シテ其末リ購フヲ俟ツ爲メ用ヒス)

越智歩兵大尉

砲兵小隊報告
八月五日午後三時五分
於溫水溪上左

一本日砲兵ハ訓令ヨリ竹仔林西北方深谷中及ニ最大照尺ヲ以テ忠崙庄方向並ニ后
大埔方向ヲ砲撃セリ所用彈種ハ皆曳火彈ナリ

二砲撃成果は知能にモ多少土匪ヲモテ我々砲ノ威カラ知ラシメナラン

大河原砲兵少尉

警察官及密偵報告ノ報告依ル尖山附近ニ黃國及李烏猫黨入り込ミ良民ニ擬シアル者ノ如シト依テ副官ヲシテ北都討伐隊ニ件ヲ協議セシム

一明日尖山庄(多ク土匪潛伏シモ、如キ以テ)剿討スル計畫中南部討伐隊ハ東方及南方

方ヨリ進入スルヲ以テ北都討伐隊ハ西北方ヨリ進入シ良否別ク土匪先之掃討速致スル

今時九ノ令ヲ下ス

討伐隊命令

八月三日午後七時
於溫水溪庄

一情報ニ依ル賊ハ尖山庄附近山中及忠崙庄東北方山中潛伏シモ、如シ当

隊ハ明日尚剿討ヲ続行セシム

二歩兵第中隊(大隊欠)ハ午前時出發ニ佃庄、忠崙庄ヲ經テ蕃仔寮庄及草山

庄ニ進出シ附近山中ヲ綿密ニ搜索スベシ

炊具一釜糧米三日分ヲ携行スベシ

三 歩兵第^十中隊（小隊欠）八午五時三十分出發ニ途ニ分レ一ハ二個庄ヲ経テ一ハ舎

管地^ヲ直々ニ夫山庄ニ進出シ山中ヲ搜索シ良民賊徒ヲ論ヤス盡ク之ヲ捕縛スヘシ

竹頭崎庄及中埔庄方向ヨリ北討伐隊ノ進出スル苦ナリ

四 歩兵第^十中隊一小隊ハ午五時出發竹仔林庄ヨリ嘉義東堡石井庄（不詳

御道^ヲ附ス）方向ニ進ミ爲シ得シハ東北方山下ノ諸庄ヲ搜索スヘシ

携帶口糧ニ日分ヲ携行スヘシ

五 工兵小隊ハ明朝四時五十分迄ニ諸衛兵ヲ交代シ舍管地ノ警戒ニ任ス内一分隊ヲ第

十中隊ニ附屬スヘシ

六 余ハ歩兵第^十中隊ト共ニ夫山庄ニ向フ

討伐隊長 樺本政章

九月一日 晴

夫山庄剿討ノ結果左ノ如シ

歩兵第^十中隊ノ佐美^{小隊}ハ南方山路ヨリ今中隊ノ平尾小隊ハ東部ヨリ

左ノ如シ

進入し附近ノ土民ハ尽ク之シテ傳シ之ニ北部討伐隊ノ捕縛者ヲ合シ約二百名
疑者ヲ獲タリ憲兵隊警官立會上一々是ヲ紅問シ疑ハレキモノ五六名
ヲ得之レテ警官ニ引渡シ他ハ右来ノ爲メ懇々説諭シ之レテ放還ス

平尾小隊ハ尖山庄北部ニ進入シ深谷中ノ搜索ヲセシテ九ノ報告ノ結果ヲ得又タ
江本警部ハ途中ニ於テ銃器携帯ノ土匪ニ遭遇シ捕獲スル能ハス之レヲ射
殺セリ

報告第二辨

九月一日午後一時
於温水溪庄

一本日尖山庄附近搜索ノ任務ヲ以テ下士以下廿二名及憲兵二名巡查八名通
訳一名ヲ率ヒ午前五時三十分温水溪庄岨幾溪内庄ヲ経テ尖山庄ニ到リ人家
及山谷等ヲ搜索セリ尖山庄ハ人家一二或ハ三四山中諸所ニ散矣シテ七八百尺
突モ高陲シアルモノアリ尖山庄北部ニ達セシハ武器携帯ノ土匪逃走スルヲ
認メ之レヲ射撃セシニ匪首何良ヲ始メ遊進黄番黄閣ノ三名ヲ射殺セリ
ニ尖山ヨリ石井庄ニ通スル深谷中ニ有カニ土匪沈結ノ家屋アルヲ探知シ之レ

ヲ搜索セシニ婦女四五人ノミテハ通譯官ヲシテ種々尋問セシメシニ總テ血縁者ニア
ラス只沈結ノ老母ノ病衰死ニ類スル者ノ如ク僅ニ沈結ハ壯年ノ頃家臥蕩
盡シ暴行止マサリシヲ以テ既ニ十余年以放逐シ其後情況ヲ知ラズト
三午前十時ニ分搜索ヲ終リ捕虜ハ悉ク警言察官ニ引渡シ午後一時溫水
溪ニ歸着セリ

平尾重次大尉

三層崎庄土匪搜索ノ序ヲ警言察官ニ命シ同總理ヲ引致セシ狀報第五號ノ結果
ヲ得ル

午後一時九ノ通報アリ

通報

九月一日午後一時
於竹腰崎庄

一本日尖山庄附近ニ潛伏シタル匪徒ヲ捕獲スル目的ヲ以テ午前八時竹腰崎庄ヲ
發シ全六時四十分ヨリ該庄及附近ヲ包圍シ捕獲ニ着手ス其結果ハ尤
如レ然テ尤託主人ハ南部警言察官ニ渡ス

警言察官捕虜五名ヲ解送ス

一 捕獲人(姓名分明ナラズ)四十名

一 銃

六 挺

但し右銃ハ設庄総理ヲシテ集収セシメタリ

北部討伐隊長成瀬歩兵大尉

全七時九ノ命令ヲ下ス

討伐隊命令

九月一日午後七時
於濕水溪庄

一 賊ノ部ハ男女老幼ニ近ツキ村落ニ逃ケ潜伏シアルモノ、如シ

二 歩兵中隊ヨリ三層崎附近ニ至ル山中ニ斥候ヲ出シ疑ハシキ

者ハ盡ク捕獲シテ本隊ニ引致スヘシ憲兵隊及警察官

ハ適宜ニ配附スヘシ

三 右斥候ハ土匪剿討ト全時ニ物資ヲ買収スヘシ

但し決シテ強奪ニ陷ラサルヲ要ス

討伐隊長 樺本政章

左ノ訓令ニ接ス

樺本大佐ニ受クル訓令

八月三日午後八時
於台南

一 貴官ノ出シタル筭八拜迄ノ報告正ニ受領ス

二 筭八拜筭四頂ニアル貴官ノ意見ニハ全然同意ナリ
(三島嶺水後)

附近剿討ノ故ニ充分ノ剿討ヲナサレテ望ム

三 龍仔寮附近ノ筭二期剿討ニ関スル貴官ノ意見ハ之ヲ採

用ス其山地ニ近キ平原ヲ通過シ行フ所ハ示威的運動ハ

其要ヲ認メス故ニ筭一期剿討ヲ終了ハ帰南ノ途ニ上

ルヲ要ス

但シ情况ニ依リ臨時ノ運動ヲ行フハ素ヨリ貴官ノ考案

ニ任ス

聯隊長 岡見正美

同時尔后剿討ノ景況及ヒ討伐終結ノ豫定ヲ報告ス

臺灣中台兵勇五期陽

此日北部討伐隊ハ尖山庄ニ拘留セラレタル良民一人ヲ奪還セリ

今五時二佃庄ヨリ奪還セシ良民ノ言ニ拠レハ該地ニハ才少ノ銃器

ヲ隠匿シアル一信ニ近シ

今二日 晴 午後三時ヨリ微雨アリ六時雨霽ム

午前十一時三十分二佃庄方向ニ出テシ午後候武器及火藥若干ヲ得テ歸營ス

午後一時三層崎庄ニ出テシ午後候歸營異状ナシ

午後五時吉弘小隊歸營尤ノ報告アリ

一小隊ハ憲兵三名巡查七名ト午前五時舍營地ヲ發シ

午前八時竹仔林山頂ニ達ス

路頗ル險峻ナリ頂上ニハ新ラレキ急造廠舎アリ情報ニ

拠レハ是レ匪首黃國鎮ノ仮營ナルガ如シト十時三十分

石井庄ニ達スレバ牛舌埔方向ニ松明ノ踪跡アリ顧フニ黄
國等ハ牛舌埔方向ニ逃走シタルナラシカ

是ヨリ牛舌埔ヲ目標トシ松明ノ踪跡ヲ追フテ進ミ十二時十
五分石壁頭(人家ニニアリ)ヲ経テ卒フシテ險崖ヲ攀登シ
牛舌埔ニ至ルニ決ス

ニ附近ノ高地ハ茅草雜樹繁茂シ斜面頗ル急峻卒フテ約八百米突ク進ミ
山頂ニ達スルハ松明ノ踪跡ニアラズ午後二時五十分一家屋ニ達ス一夫人アリ賊
情ヲ問ハハカノ如ク答フ

一昨夜及ヒ昨夜ノ夜中土匪此地ヲ通過シ牛舌埔ノ方向ニ向アリ其ノ數ハ合セテ
百餘人ト今何ニシテ知ラス

三夫人ノ郷道ヲ下シ四時十分牛舌埔ノ北端ニ達ス一夫人ノ食物ヲ擔テ南ニ進ミ
路上午候ト相距ニ百米突役シ我隊ヲ見テ狼狽逃走ス射撃シ加死シモ
軍中セズ是ヨリ一層警戒シ嚴密ニ沿道ノ家屋人影ヲナシ

四時要合桶大の一屋、會ス一等卒山下、岩高ハ夫兵ノ先頭ヨリ家屋、近ク
約三米突ミテ家屋、賊アリ銃眼ヨリ奈射ス賊彈山下ノ腹部ヲ貫ク同時
夫兵、向テ猛射フ夫兵、路上、散開ミテ西屋ヲ攻撃ス賊數ハ西屋、十數名
北屋、約十名、ミテ悉ク銃シ携帶ス先ヅ小隊シ開進シ落ニ分隊ミテ林縁シ
占領セシメ北屋ヲ攻撃ス賊屋附近ノ地形ヲ偵察ス、東方及南方ハ開闢シ
西方ハ一帯高地、ミテ茅藪、藪莽茂ニ西側ハ堅固ハ竹牆アリ依テ賊退路ハ
西屋南端ヨリ山中、向フ一條ルノ

五敵退路ヲ扼ス、五時、隊ヲ隊ノ賊背後ニ迂回セシム匪徒之ヲ見テ頻ニ
動搖シ、狀アリ依テ直ニ、隊西分隊シ第一線ニ増加シ全線突撃ス賊狼狽火
難ニシ、賊ミテ西南方ニ向リテ敗走ス迂回隊追撃セシモ茅草雜藪、藪莽茂
ニテ射撃ナク、カクテ、隊西分隊ニ直ニ追跡セシモ樹草深クシテ遂ニ賊
踪跡ヲ失フ

六賊徒撃退後附近、散在ス他ノ家屋數戸ヲ搜索セシモ、瞬時ニ敗走ス

跡アリテ土民影跡ヲ見ズ日没シテ占領シ家屋一敬書急倉官又

七本貫浦ニシテ彈藥二百五十発我隊戦死山下一等卒一名戦死有ニ其五

派大領布ヲ纏ヒ銀貨其他遺托牌數多ク有ス必ズ一匪首ナリト思ヒ其首

級ヲ捕虜(衆)

八分捕虜ハ單条銃二挺春銃一挺一匪ヲ五振彈シテ其手ヲ捕メ一日五件(如數)

使用ハ銀貨貳拾五圓ナリ

九后大埔溪ハ目下増水渡河出来ス

十翌二日午前六時出發后大埔ヨリ凍仔頂ニ進ス本道ヲ經テ午後二時溫水溪

歸還ス

吉弘中尉ノ獲ル首級ハ姓名シ種々取調ベシモ一々知ルモノモ依テ溫水溪総理何

歸還(越智中隊)草山(四)ヲ待ツ

同六時九ノ訓令ヲ受領ス

榎本討伐隊長ニ對シ訓令

九月一日午後五時
加賀南

八月三日溫水溪に於て第九聯報告九月一日午前一時過正を受領ス終テ
御意見準り實行せむべし

二隊留守隊、其、憲兵、カ、五、隊留守、カ、大塚憲兵隊長、ハ、取、議、決、し、
付、歩、兵、隊、下、兵、隊、雷、兵、支、隊、高、山、道、憲、兵、隊長、ヲ、報告、ス、六、隊、隊長、ヨリ
同様ノ指令又答

三、隊、留守、カ、爲、ノ、店、仔、ヨリ、凡、ソ、一、月、有、權、限、シ、運、搬、セ、ル、置、ク、旨、皆、了、事、ヤ、
蓋、シ、一、月、有、權、限、搬、シ、置、テ、足、リ、ト、ス、下、官、ハ、一、月、以、上、駐、ル、セ、ル、置、置、カ、ハ、考
案、ニ、ハ、リ、故、ニ、即、配、慮、ノ、如、キ、一、月、後、嘉、嘉、義、ヨリ、運、搬、セ、ル、ル、シ、便、利、ニ、ハ、
自然、不、要、ノ、儀、ニ

本日、道、督、部、長、ト、面、晤、シ、殘、留、者、爲、ノ、酒、煙、草、等、送、附、ノ、事、我、モ、取、議、
済、ス

四年交代期モ切迫シ居ル、一、月、有、權、限、殘、留、者、隊、シ、永、々、日、數、三、日、間、前、
所、ハ、引、揚、ル、考、案、ヲ、故、ニ、嘉、嘉、義、縣、部、會、家、ノ、據、張、ノ、趣、ノ、テ、右、時、日、

(九月二十日頃) 近ニ整頓セラレシ事ヲ望ム此件ハ貴官ヨリ警部長ニ寫ト申置

ルヘシ

五貴官初討伐一行將校以下奮勵ノ勞ヲ慰ス

聯隊長 岡見正美

九ノ命令ヲ下ス

討伐隊命令

九月二十日午後七時
於温水溪庄

一 附近土匪ノ状況ニ就テ得ル所ヲレ

吉弘小隊ハ昨日右大埔右岸牛舌埔庄ニ於テ土匪數十名ノ家屋防禦
ヲナセシモノニ遭遇シ之ヲ撃退セリ

二 當隊ハ明日當地ニアリテ附近ノ状況ヲ偵察セントス

三 平尾小隊ハ明朝出發恙仔寮庄竹仔林庄附近ノ状況ヲ偵察スヘシ

適宜憲兵及警察官ヲ附屬スヘシ

四 上兵小隊ハ竹頭崎庄守備兵ノ舍營設備ヲスヘシ(目下北討伐隊宿營ノ處)

吉弘小隊ハ昨日右大埔右岸牛舌埔庄ニ於テ土匪數十名ノ家屋防禦ヲナセシモノニ遭遇シ之ヲ撃退セリ

但銃眼等ハ明日ヨリ着手スヘシ

討伐隊長 樺木 政章

同九時嘉義縣宮川警部長(教日前歸嘉)ニ其後ニ於テ附近ノ概況及ヒ尤
ノ件ヲ照會ス

一 今台南聯隊長ヨリ訓令ニ接ス尤ノ件尙未知アラタレ

一 當竹頭崎守備兵ハ九月二十日位ヨリヨリ残留シ能ハサル

二 右時日迄ニ警言察力ヲ擴張シ貴部ニ於テ一切ノ事ヲ受ケテタキ

溫水溪以東ノ剿討略ホ終リ殘賊ハ四方ニ逃走シテ其影ヲ潛メ其ノ寡屈ハ

悉リ破壊セシ其ノ貯藏ノ糧食品及ヒ武器彈藥ノ大部ハ奪ヒ彼レノ復旧

殆ント其策無カラシ然レモ出沒常々元來強盜ノ種族ナル以テ此ノ方面ヲ

空虚ニセハ彼等忽々再ヒ餘党ヲ糾合シ恢復ヲ計ルハ必ヤリ恙存察及ヒ

竹仔林ノ地形ナル背面ニ有餘米突ノ大山脈ヲ負ヒ左右綿互セル山谷ヲ連ネ尤ハ疎

修頂ノ險ヲ右ハ忠崙ノ峻谷ヲ加ヘ其前面ハ溫水溪及ヒ三個庄ノ谷間ヲ以テ関鎖

シ容易ニ近接スヘカラル要地ニシテ大重溪后大埔嘉義東堡ニ通スル諸路ヲ有
シ且楓柳樹龍驤肉其他ノ物産ニ富ムヲ以テ我兵温水溪附近ニアリテ該方面
ヲ堅固ニ警言戒セハ土匪ハ唯タ后大埔溪ノ間道アルニシテ其他方面ハ再ヒ暴戻
ヲ逞フスル一能ハス西北方ノ僅々餘喘ヲ有スル匪徒ヲシテ自然ナス一無キニ到ラシメ
且ツ多ク物資ヲ産出スルノ利益アリ依テ竹頭崎庄ニ有力ナル歩兵隊ヲ置き之
レニ憲兵及警備官ヲ附シ善后ノ策ヲ講セシムルハ討伐後ノ要件ナリトス依テ出發
前ノ訓令ニ基キ之ヲ殘留セシム

全 三 日

尤ノ訓令ヲ發送ス

吉田少尉ニ對シテ訓令

九月三日午後二時
於温水溪庄

- 一 土匪ノ情況ニ就キ別傳ル所々モ后大埔方面ニ多ク土匪逃入セリハ事實アルモノ如シ
- 二 貴官明日其地ヲ刻キ揚ケ危仔寮竹仔林附近ヲ搜索シ本隊ニ合スヘシ
- 貴隊目下合營ノ賊寨ハ破棄セス後未ノ為ヲ保存シ置カルヲ要ス

嘉義東堡后大埔嘉義東堡

計伐隊長 樺本政章

剿討始シト局ヲ結ビテ以テ部討伐隊ヲ將校ト温水溪畔ニ相會シ酌量ケ全時音期ニ先リ揚子歸隊イヨク
午後四時越智中隊歸營尤ノ報告ヲ得ル

嘉義東堡蕃仔寮附近搜索報告

九月三日午後四時
於温水溪庄

一 明治三十年九月日午敵六時廿分温水溪發忠崙庄ヲ経テ午後五時廿分蕃仔寮ニ着ス当庄温水溪
ヲ距ル約六里シテ戶數十戸アリ中隊當庄着ス武器ヲ携ル土匪十名計リ見ル之ヲ追捕セトモ陰崖
進ム能ハス即チ敵ヲ射撃ス久彼等附近ノ山中ニ逃走ス其内首者江英ニ着アリ逃走ス能ハスヲ我兵ノ
捕獲ス所トナシ江英ノ言按ルハ当庄匪徒進約九名ハ討伐隊忠崙庄到ルチ知ルヤ旧曆八月日(八月六日)
中埔庄方向逃走シ其ノ他ノ者ハ今朝當地附近ノ山中ニ逃走セリト

二 當庄ニ防禦工事等ナシ又以テ取テ爲タル痕跡モナシ

三 翌二日某處察附近及石壁頭庄附近ヲ周リ搜索セシニ三方山ノ上ニ匪出沒スル數度斷絶ス深谷ヲ
降タル以テ敵ヲ一斉射撃ヲ施シ之ヲ擊退ス途中刀劍類ノ草中ニ匿レテ見シ尚附近ヲ搜索セシモ
獲所ノ匪徒跡影ヲ見ス夫ノ牛古埔通ル道路出テ厚埔溪右岸ヲ降り吊橋山ヲ超越シ歸營ス

台大埔溪、目下渡渉、能ハレヲ認ム

越智步兵大尉

進テ捕獲者江英尋問書相添進達候也

捕獲者江英尋問書

明治三年九月一日嘉義縣東堡蕃仔寮庄於捕獲者江英尋問書就聽取之
察及至其附近匪状況如シ

一今面討伐隊忠崙庄未見之蕃仔寮匪徒塗豹之清曆八月廿八日
中埔庄向逃走其其他今朝當地附近山中逃走

一蕃仔寮庄塗豹塗定之匪看概未良民之塗豹久竹仔林庄匪首王
烏猫部下屬之孫奪出之其子塗生(昨有失之)及塗定三人ト云

王烏猫久之黃國許之會之史之強奪之出ルト云

一塗豹、昨午彈藥二百発金三圓ヲ買ヒ来リ又由之何處ヲ買ヒ知ラズ
其他武器等ヲ多量ニ持テ入り之ヲ聞カス

一 蔡仔寮庄六塗豹、塗定外銃器ヲ所持シ者數シ

一 王烏猫董國、昨年四月中有(事)見塗豹ノ宅、未(事)一月中旬頃迄テ居リタリ

其後未(事)一(事)

一 王烏猫ハ竹仔林庄、董國ハ蔡仔寮庄ニ目下后大埔、潛匿シ居リ聞ク

一 土匪ハ平常四六ツ、位名所、散在シ掠奪ニ出時ハ蔡仔寮ニ集會ス夫(事)リ掠奪、

著手スルヲ

一 蔡仔寮ハ三大姓(天姓ト董國等三多匪有リ夫(事)カシ)五路兵(五路ハ海岸附近ニ在ニ匪徒多ク)集

居、或(事)土匪最モ多ク住スト聞ク

一 蘇林竹朗及ヒ草山ニ佳才輩セシ土匪、存(事)聞カズ

一 蔡仔寮ハ是迄テ土匪、集會セシ一(事)

通水溪總理、古弘小隊ノ獲シ、処ノ持留ヲ一見セシ、疑ヒナリ匪首鄭旺之旨ヲ各(其ノ)

首級ヲ見セシ、全(事)鄭旺、シテ彼ハ未(事)烏猫ノ部將ニシテ部下ニ三十人ノ有リ有カモノナリ

其居処ハ相宅庄ナリト

同時警署官令に砲兵及馬匹ヲシテ嘉義ヲ経テ(道路ヲ和合シテ)帰南スヲ以テ適宜便利ヲ與ヘ
ラシキ一ヲ嘉義兵站司令部ノ依頼ノ書狀ヲ屬ラシム

同七時九ノ要旨報告アリ

店仔口福林集積所護衛隊報告

九月三日午前四時三十分
於店仔口庄

一 昨二日午四時三十分稍々信スル日本商人密報ニシテ大排竹庄(店仔口西北約一里)ニ土

匪五六人集合シアリト下官ハ當警署署ト共ニ直ニ之ニ趣キシカトシテ其形跡ヲ認メ

二 昨夜信スル密告ニシテハ匪首本護鎮ニモノ部下十數名ト共ニ五辨頭庄(店仔口東北

方約五里羅米突)ニ潜伏シアリト下官ハ當警署署ト謀リ

今朝未明該庄ヲ包圍シ嚴密ノ搜索ヲ遂ケ二人ヲ射殺シ嫌疑者十名ヲ捕獲シ目

下當警署署ニ於テ共ニ取調中ナリ

右ノ匪首ハ昨夜確カニ五辨頭庄ノ庄長ノ内ニ宿泊セシモノ、如シ該庄實ニ曖昧者多シ

三 昨日午後二時頃當警署署ニ於テ土匪ノ間諜者ラシキ者一名ヲ當庄ニ於テ捕縛セ

リ之ヲ目下取調中

四當地人馬共健全アリ

荒木騎兵特務曹長

午後七時平尾少尉歸營別ニ獲ル所ナレ

全時新營庄分遣隊死討伐隊ノ明後五日溫水溪出發同日店仔口泊六日新營庄
一泊豫定ニテ砲兵及馬匹若干ハ嘉義ヲ經テ五日新營庄ニ着ノ旨通報シ豫メ宿營
ノ準備ヲ依頼ス

全時嘉義縣宮川警部長死ニシテ營隊ハ附近ノ剿討ヲ了下士以下三十九名歩
兵小隊ニ憲兵一伍ヲ附屬シ竹頭崎庄ニ残置シ他ハ店仔口ヲ經テ歸南ノ途ニ就ク
及水原旅團副官及ヒ砲兵小隊乗馬若干嘉義ヲ經テ歸南セラルヲ通報ス
北討伐隊ノ状況ヲ聞(乍候ヲ以テ連絡)シニ該方面ハ別ニ異常ナキモノ如シ
全七時九ノ命令ヲ下ス

討伐隊命令

九月三日午後七時
於溫水溪庄

一土匪ノ状況ニ付キ別ニ得ル所ナレ

北部討伐隊ハ明後五日出發嘉義本隊ニ帰營ヲ誓ナリ

當隊ハ明旦服休養食明後日出發店仔口新營庄ヲ経テ帰南ノ途ニ就ク豫定ナリ

二砲兵小隊及將校乗馬ハ明四日出發嘉義ヲ経テ新營庄ニ到リ本隊ト合スヘシ

砲兵護衛ヲ兼ネ工兵一分隊ヲ附属スヘシ

店仔口殘遺ノ砲兵隊人馬等ハ適宜新營庄ニ到ラシム可シ

三吉弘歩兵中尉ハ下士以下三十五名ノ一小隊ヲ以テ竹頭崎庄ニ殘留シ附近ヲ守備任ス

青木三等庫匠憲兵二伍警容官(巡查部長以下十六名)ヲ中尉ノ指揮ニ屬ス

討伐隊出發後殘留小隊ハ聯隊長ノ直轄ニ屬セラン

四工兵小隊ハ本日續キ右殘留小隊及附属憲兵等ノ舎營設備ニ任ス

五患者步行ニ堪ハルモノハ明日護衛兵ヲ附シ店仔口ヲ経テ新營庄ニ送ルヘシ

六設宿隊トシテ歩兵各中隊給養庫曹兵卒五名ヲ明日出發店仔口ニ到リ荒木

騎兵特務曹長ノ指揮ヲ受ケ特ニ昼食ノ準備ヲナスヘシ

七明朝六時下士率ニ任候(第廿五中隊ヨリ混合)三層崎附近ニ出シ該地ノ

狀況ヲ偵察スヘシ

敬言察官若干ヲ附屬ス

討伐隊長 樽 水 政 章

又同時^見聯隊長光九ノ要旨ノ報告ヲ發送ス

討伐隊報告算十三號

九月三日午後七時
於溫水溪庄

一土匪ノ情況ニ就テ其後大差^キモ各方面ノ情況ニ松ハ多少ノ土匪ハ后大埔及平地

ニ近キ各庄ニ潛伏シ在ルモノ如シ

后大埔溪ハ水量今尚ホ減セス到底渡河ノ見込ナシ(吉弘中尉越智大尉報告ニ

松ルモ)

二平地ニ近キ村落ノ善後策ニ就テ、警察官及ヒ憲兵隊ニ任ス外他ニ適法ナシ

三右ノ情況ニ依リ當討伐隊ハ明後五日當地出發店仔口及新營庄ニ泊ノ上歸

南ノ途ニ上ラレトス

砲兵及ヒ馬^匹ノ如キハ(道路峻悪ノ爲メ)明朝出發嘉義ニ到リ新營庄ニ於テ

本隊ニ合スル者ナリ

四當地附近ノ守備ニ吉弘中尉青木軍医下士以下三十五名ヲ残留セシム

酒保及人夫若干名ヲ附屬ニ置ク

五吉弘中尉ノ射殺スル土匪ノ一人ハ李烏猫ノ部將ニシテ部下二十ヲ有シ相宅庄附近ノ
匪首ナリ

六越智中隊ハ昨日午後三時帰營ス

談隊ハ途中（蕃仔寮ト忠崙庄トの間）群ヲナル土匪ニ遭遇シ之ヲ撃退セシメ教度
ナリシト

蕃仔寮ニ於テ刀七振ヲ得ル

七北部隊代隊ハ明日迄テ準備ヲ了シ明後日出發帰義セシム

昨日上兵小隊ハ竹頭崎庄ニ到リ残留小隊及憲兵警察官ノ居住ニ堪ユキ床及糧餉
廠舎ノ構造及周囲ノ商壁ニ銃眼ヲ穿テ午後四時飯堂將校以下ノ精勵特ニ記
スベキモノアリ